

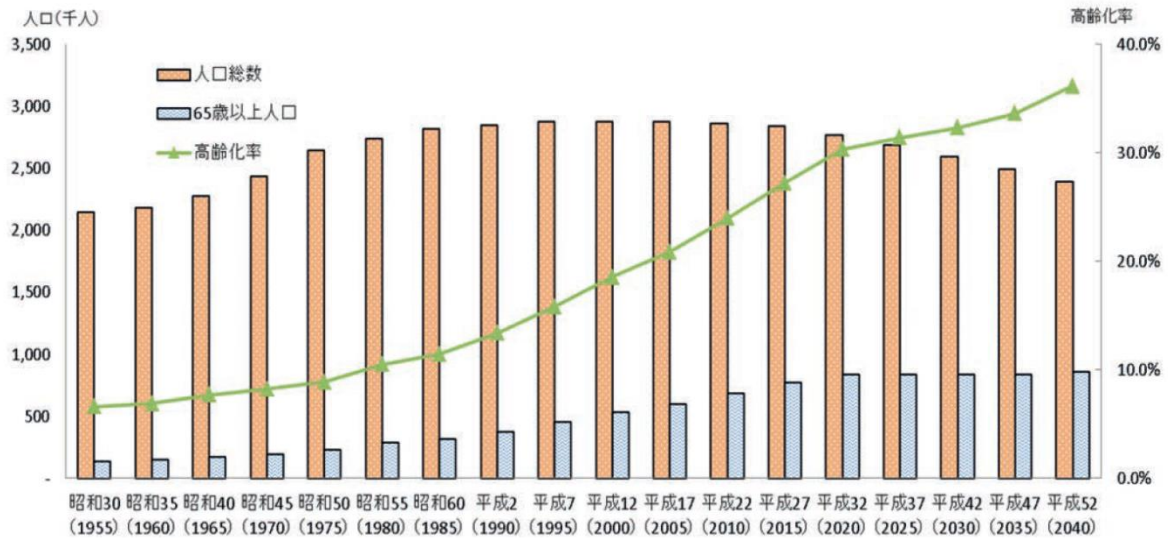
広島県の現状

人口構造の推移

本県の高齢化率は平成17(2005)年に20%を超え、平成22(2010)年には23.9%となり、いわゆる超高齢社会に突入しました。

今後、平成47(2035)年には高齢化率は34.5%と、3人に1人が65歳以上であると予測されています。また、人口は既に減少し始めており、平成47(2035)年には250万人を下回ると予測されています。

広島県の高齢化の推移と将来推計



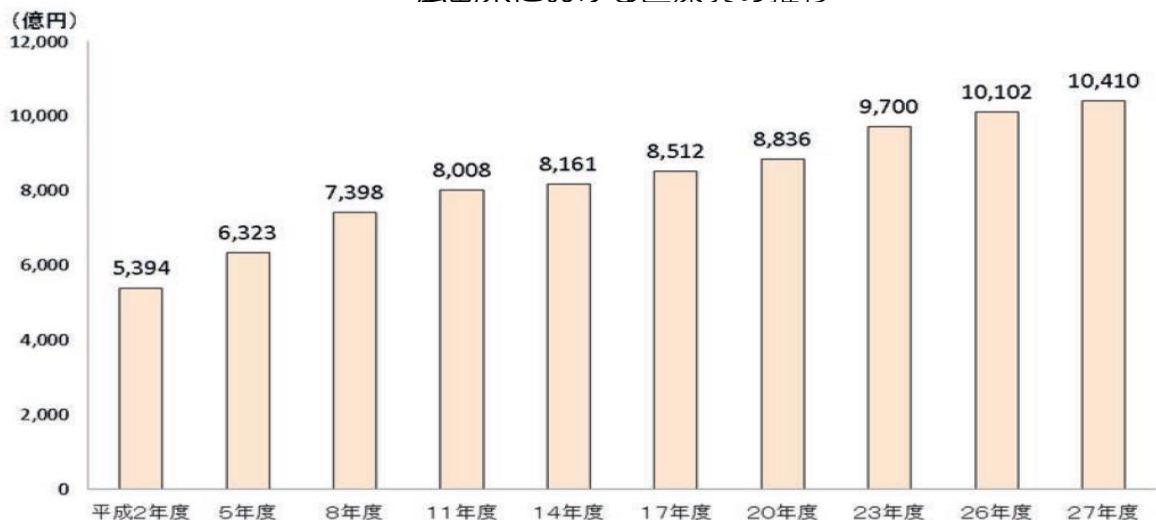
出典：2015年まで「国勢調査」(総務省)

2020年以降「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

医療費の推移

高齢化の進展に伴って、本県の医療費は増加傾向となっており、平成27(2015)年度には、1兆410億円となっています。

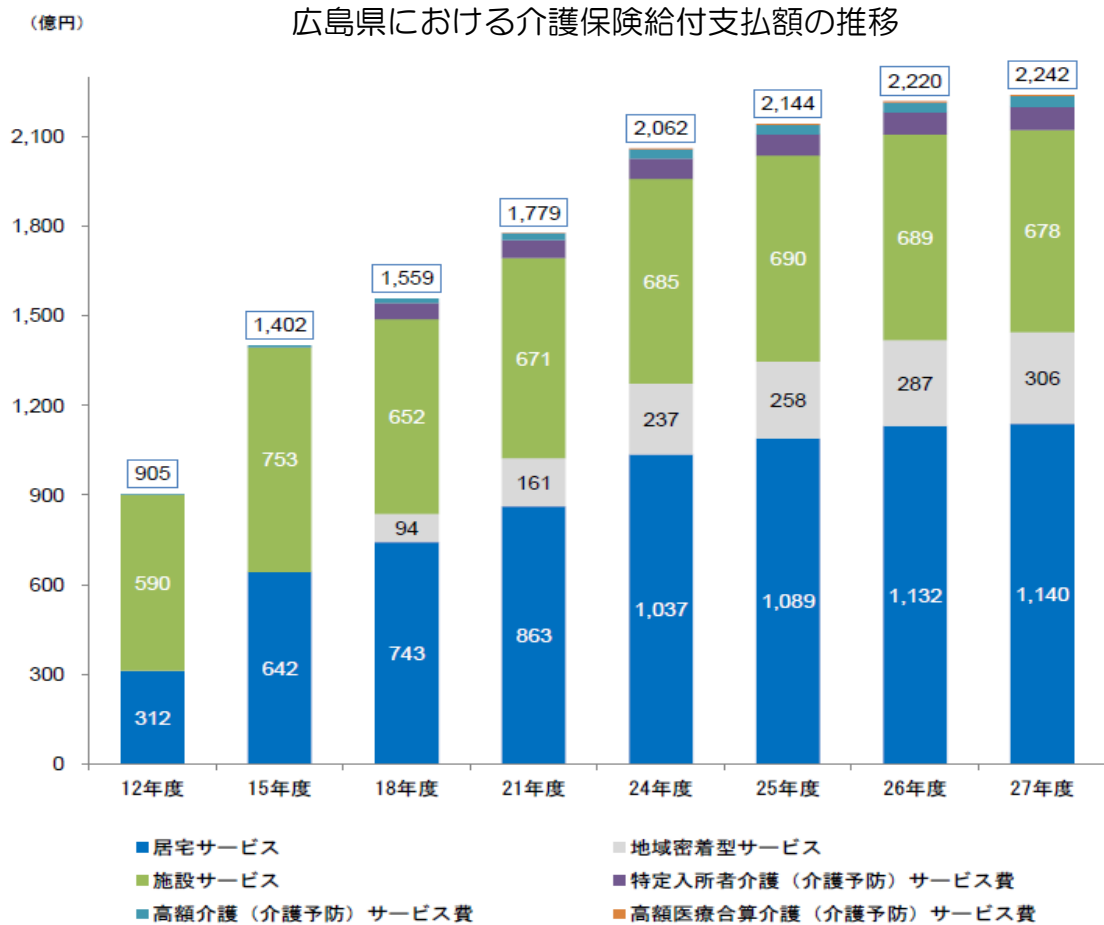
広島県における医療費の推移



出典：平成27年度国民医療費(厚生労働省)

介護費の推移

介護保険給付支払額も増加しており、平成 27（2015）年度には、2,242 億円となっています。

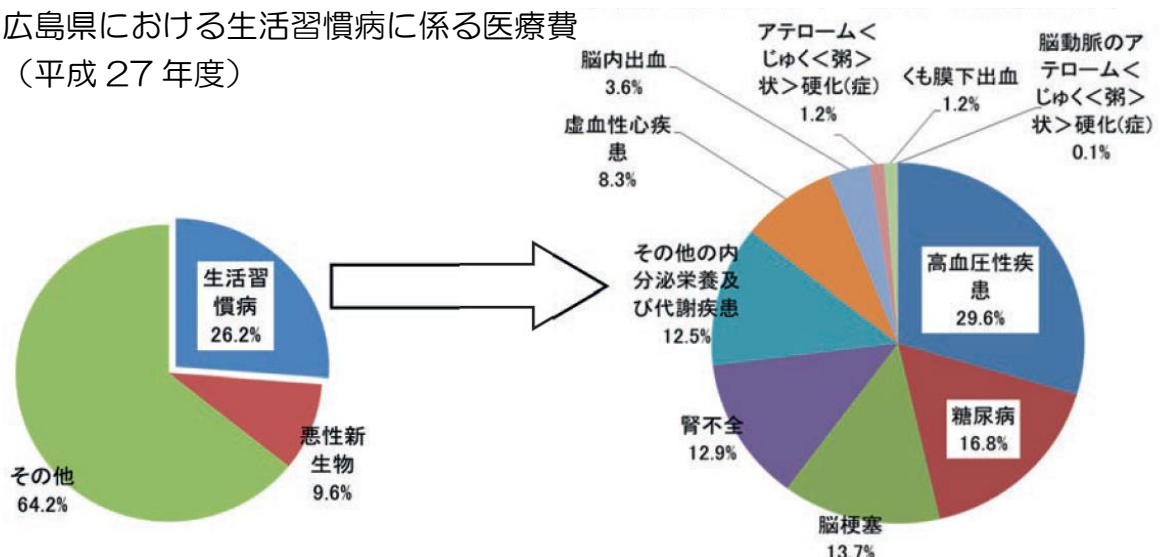


出典：介護保険事業状況報告年報（厚生労働省）

生活習慣病に係る医療費

生活習慣病に係る医療費は全体の 26.2%，悪性新生物に係る医療費は 9.6% を占めています。

広島県における生活習慣病に係る医療費
(平成 27 年度)



出典：第3期広島県医療費適正化計画

健康寿命の状況

本県の健康寿命は、平成28年で男性71.97年、女性73.62年となっています。

平成25年からの伸び幅でみると、男女とも全国平均を上回っており改善傾向にあるものの、全国順位は低位であるため、更なる延伸を目指す必要があります。

健康寿命の状況

調査年	男 性		女 性	
	広島県(全国順位)	全国	広島県(全国順位)	全国
平成25年	70.93年(33位)	71.19年	72.84年(46位)	74.21年
平成28年*	71.97年(27位)	72.14年	73.62年(46位)	74.79年
(H25⇒H28)	+1.04年(6位↑)	+0.95年	+0.78年(変動なし)	+0.58年

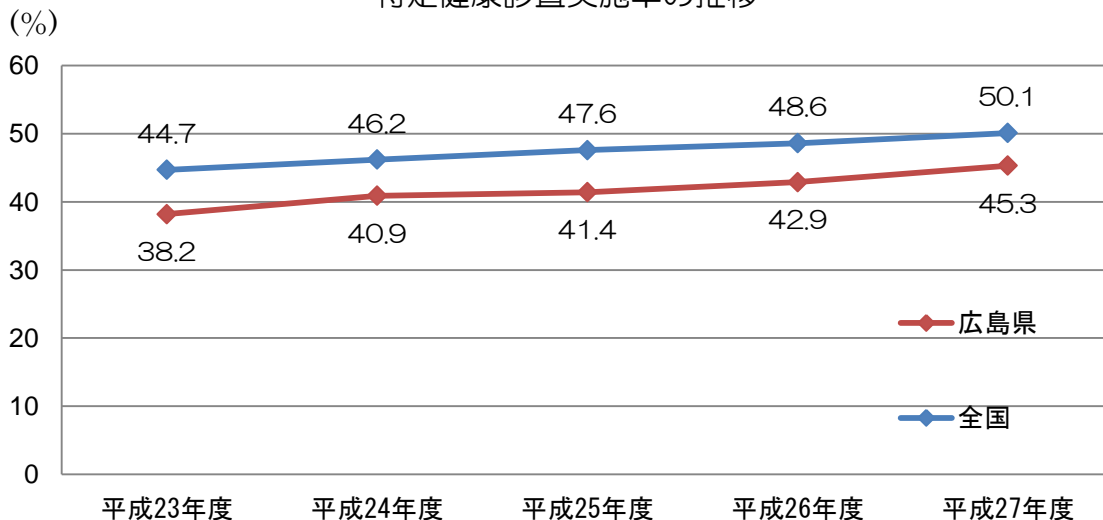
※ 平成28年は熊本県を除くデータ

出典：厚生労働科学研究班

特定健診実施率の状況

本県の特定健康診査の実施率は上昇しているものの、全国平均を下回る状況が続いています。

特定健康診査実施率の推移



出典：特定健康診査・特定保健指導の実施状況